

総長あいさつ



九州大学総長 久保千春



九州大学は、人社系・理工系・医歯薬系等の広範な領域において、我が国を代表する基幹総合大学として発展を遂げ、2011年に創立百周年を迎えました。この「九大百年」に際し、これからの百年に向けて、「自律的に改革を続け、教育の質を国際的に保証するとともに、常に未来の課題に挑戦する活力に満ちた最高水準の研究教育拠点となる」ことを基本理念として、世界最高水準の教育、研究、診療活動を展開し、更なる発展を進めていかなければなりません。

九州大学は、その使命と理念を達成するために、教育憲章、学術憲章を制定するとともに、2015年10月には6つの骨子からなる「九州大学アクションプラン2015-2020」を策定しました。

【アクションプラン(骨子)】

- I. 世界最高水準の研究とイノベーション創出
- II. グローバル人材の育成
- III. 先端医療による地域と国際社会への貢献
- IV. 学生・教職員が誇りに思う充実したキャンパスづくり
- V. 組織改革
- VI. 社会と共に発展する大学

アクションプランを着実に実行していくためには、九州大学の構成員一人ひとりが、自由な発想と洞察を持って、常に高みを目指し、新しい地平を切り開いてゆく絶えざる挑戦が必要です。そして、学生達の潜在的な能力の高さを信じ、学生にそのことを気づかせるアクティブな教育活動を展開していただきたいと思います。

また国立大学に対しては、行政や産業界等からより迅速に、目に見える改革や機能強化が求められています。大学に対する社会からの要請や期待に、基幹総合大学として、またそこで働く職員として自覚と誇りをもって、これらに的確かつ迅速に応えていく必要があります。平成26年度から開始された「基幹教育」をはじめ、学部・学府の専攻教育、高度な研究、診療等において、すべての職員が創意、工夫、協力、積極性と実行力を持って、直面している数々の課題を解決し、新しい道を切り拓いていくことを願っております。

このたび、教員の教育研究活動の一助とするため「九州大学教員ハンドブック 2017」を刊行しました。このハンドブックには、九州大学での教育研究活動においてぜひ知っていただきたい重要な項目が網羅されています。

九州大学における教員生活のよきガイドとして活用していただき、充実した教育研究活動を展開されることを期待いたします。